

京都市立堀川高等学校 選抜概要

※令和3年度選抜の例です

めざしているのは
自立する18歳の育成

その実現のためには
日々の学習と探究活動

募集定員・通学区域

■ **普通科** 80名

京都市・乙訓地域

前期: 24名(30%)

中期: 56名(70%)

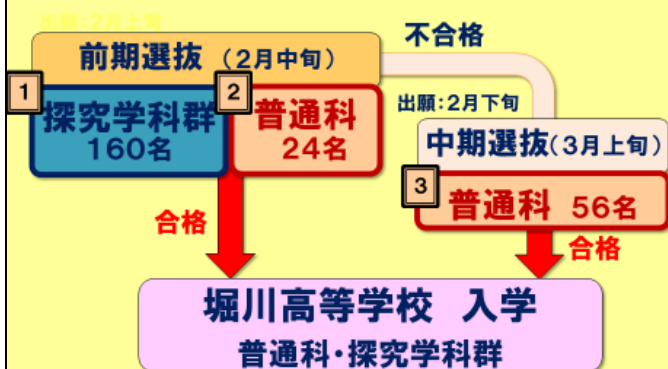
募集定員・通学区域

■ **探究学科群** 160名

京都府内全域

前期: 160名(100%)

選抜方法

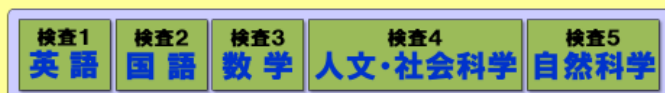


探究学科群 前期選抜

- **報告書** (100)
(各教科評定) × (9教科) × (3学年)
※135点を100点に換算
- **独自学力検査**: 5教科(400)
英語100・数学100・国語100・人社50・自然50
- **小論文**: 1題 (25)

合計: 525

独自学力検査



探究活動

幅広い言語能力
発想力
分析力
課題解決能力

小論文 (探究学科群のみ)

堀川高校の学習の取組

探究基礎 ⇒ 主張・根拠の把握・情報の活用

課題文に含まれる
主張と根拠を把握する力
多くの文章に触れる・多角的視点を持つ

普通科 前期選抜

- 報告書 (135)
(各教科評定) × (9教科) × (3学年)
- 共通学力検査: 3教科(150)
国語50・数学50・英語50
- 面接: 集団面接 (50)

合計: 335

普通科 中期選抜

- 共通学力検査 (200点)
国 社 数 理 英
40点 40点 40点 40点 40点
- 報告書 (195点)

合計: 395

面接: 集団面接 (普通科のみ)
6人程度

堀川高校での「対話」を重視する取組

提示された課題について討論できる
対話能力・表現力・協働する力
意見を丁寧に伝える・他者の意見をよく聴く

■ 面接: 集団面接 (6人程度)
実施方法

堀川高校では日常生活や社会の中で、自分が知りたいと思ったり、それを知らうとしたりする際に、心にとめておくべき事柄を「探究五箇条」としてまとめている。その中に「常識を疑え」という文がある。面接では、自分が知りたいと思ったり、それを知らうとしたりする際に、常識を疑うことがどのような役割を果たすかを、自分自身の経験にもとづいて議論し、グループで50字程度の文章にまとめる。

参考: 令和3年度 京都府公立高等学校入学者選抜 概要及び前期選抜等実施要綱

■ 面接: 集団面接 (6人程度)
評価の観点

発想力、他者の意見に対する受容力、意見の相違を乗り越え、協働しながら結論を出そうとする姿勢を総合的に評価する。

グループで作成した文章自体は、評価の対象としない。

堀川の学習活動と選抜

知識・理解
言語能力

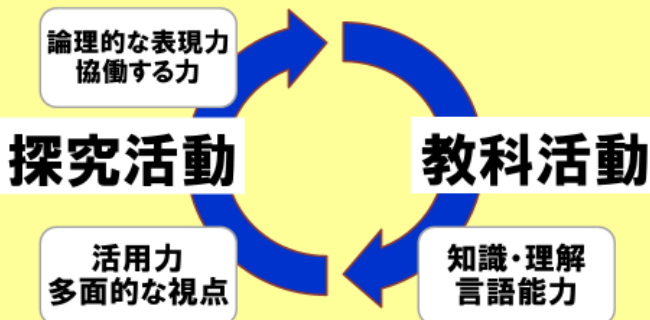
活用力
多面的な視点

論理的な表現力
協働する力

堀川での
学習活動

将来

堀川高校での学習活動



堀川高校学校憲章より

ひとりになる
高みまわす
ひとりになる

